



STEP 2 REPORT

DATE: 2019/02/17~20

1日目

1日目は車両が保管してあるガレージにて集合し、シート合わせとSRS アドバンスにステップアップ出来た際に着用するレーシングスーツの採寸を行い、それが終った後は翌日に走行する鈴鹿サーキット国際南コースのオンボードビデオを見ながら講師の方々から講習を伺いました。

シート合わせでは昨年 SRS アドバンス、SRS スカラシップ選考会にて使用した自分のシートを合わせたので比較的早くフィッティングが済みましたが、自分のシートが国際南コースように作ったシートではなく、座高が低すぎたので背中にパッドなどを入れて目線の高さが合うように対処しました。そしてスーツの採寸では昨年のスーツが少し大きすぎて緩い印象だったので今年は身長に合わせてぴったりな設計にして頂きました。

その後の講習では、明日から行う STEP2 の行程などをミーティングし、自分の中でもどのようなイメージで組み立てていけばいいのか考えました。

2日目

2日目は走行の前に体力測定の為南コースを使った 1500m ランニング。昨年特に力を入れたトレーニングの成果もあり、30 秒タイムアップと 2 位と大きな差をつけ 1 位を獲ることが出来ました。

約 1 年ぶりの南コース、そして約 1 年ぶりのフォーミュラエンジョイ車両であった為始めはコースと車のイメージを思い出すところからじっくり初めて参りました。

最初の走行ではスタート練習も兼ねたストップ＆ゴーにてコースを周回、ギアのポジションなども分からず色々試行錯誤しながら走行しました。

2 本目からはストップ＆ゴーポイント無しの完全なるフリー走行でタイム計測も始まるので 1 本目の走行の際の感触と講師からのアドバイスを頼りに少しづつペースを上げてアタックして行きました。自分としてはまとまりが無く納得のいかないラップでしたが生徒とコンマ 2 秒差でトップタイムでした。その後、講師に先導走行+後ろを走って自分の走りを確認して頂き、自分と講師との走らせ方の違いを理解することが出来ました。そこで自分がここは自分の方が上手なコーナリングしていると自信のあるコーナーでは、今までの自分のドライビングスタイルを維持、そして講師の方が速いなど感じた所では、自分の走りのリズムが崩れない程度に講師の走り方を真似して走ってみました。その甲斐もあり、走れば走る程タイムアップし走り出しのタイムから半日でコンマ 2 秒も上げることが出来ました。しかし、気温が高く 1 番タイムが出やすい最後のセッションで排気管が

割れるトラブルが発生してしまい急遽車を乗り替えましたがその車にドライビングを合わせる時間も限られており、自分の納得行くタイムが出せられませんでした。

午後は後ろのタイヤのみを滑りやすい物に交換し、車のコントロール力のトレーニングにもなるドリフト走行を行いました。はじめは車の滑り始める姿勢を作るのに苦労しましたが一旦コツを掴んでからは楽しく車をスライドさせていました。笑



画像は初日に使用した車両と同型。画像は <http://www.west-racing.co.jp/fe.htm> から引用。

3日目

3日目からはいよいよフォーミュラドリームマシンでの走行。天気は雨。

人生で初めてのフォーミュラマシンでのウェット走行、上手くマシンに馴染めるのか不安でした。本日のスケジュールとしては、おおよそ半日フォーミュラマシンでのストップ&ゴー、お昼休憩の前の走行からはフリー走行となりました。そして1本目からマシンのギアボックスのトラブルが発生し、治るまで自分が満足いく走行をすることが出来ませんでした。しかし午前中のラストから始まったフリー走行では総合トップまでは僅かに及びませんでしたが、常にグループ1位、総合ではトップ2に入ることが出来ました。午後の走行では何度か総合トップになることもあり、講師とのタイム差が僅か0.01秒の時もありました。そして午後のフリー走行後半では雨脚が急激に強くなりスピン、コースアウトするドライバーが続出、最後は講師がクラッシュしてしまい3日目の走行は中止という形で終わりました。

最終日

最終日は雨も上がり天気は晴れ、しかし路面がまだまだレインの状態で走りながら徐々に乾いていく常にコンディションが変化する中での走行になりました。午前中の走行は最後の走行を除きすべてがウェットコンディションになりました。乾いてく路面でのウェットタイヤの扱いに苦戦し、総合3位になってしまったこともありましたが、

常にトップ2には入り、上位で走行することが出来ました。

ドライタイヤを入れてからは、赤旗やスピンの車両などがありまともに1ラップもアタックできなかったセッションを除き、全てのセッションで生徒総合1位を獲得することが出来ました。そして最後の計測走行では講師や関係者の方々から頂いたアドバイスの甲斐もあり、講師とのタイム差をコンマ1秒まで詰め、僅ながらも成長を感じることも出来ました。

まとめ

今回のSRS STEP2は2年目であることもあり、講師の方々からかなり厳しいお言葉を頂いたこともありました。2年目であることによる常にトップタイムを出す、常に安定した速さをアピールすること、これのプレッシャーはかなり厳しい所がありました。

しかし、去年1年間SRSで磨いたスキルがあらゆる面で役に立ち、去年はただ外から自分流に走りを見ていたところが、しっかりとドライバーがどのような意図でそのような操作をしているのか、講師にアドバイスを伺う際の質問の質や、自分がマシンに対して、ドライビングに対して身体で感じる質、全てが去年のはじめと比べて自分が意識していた以上に大いにレベルアップしたところがありました。

そしてこのレポートのまとめを作成している間にSRS事務局から

審査の結果、アドバンス選考会STEP2での成績はスピード・シフト操作・ブレーキの踏力・その他の面からアドバンスを受講するための適格なレベルに達していると判断させていただきました。

よって、貴殿の『SRS-Formulaアドバンス』の入校を正式に受理いたしましたのでご通知申し上げます。

との連絡がありました。

一先ずアドバンスにステップアップ出来た事は凄く嬉しく思いますが、講師とのタイム差もまだまだ大きくありましたのが現実です。

生徒総合トップではありますが、今のレベルで満足せず

更に速く、、、

更に強くなれるように、、、

限られた時間の中で活用できるものを最大限に活用してドライビングに限らず、

自分が吸収できる全てのことを吸収して参りたいと思います。

これからも応援よろしくお願いします。

木村偉織